

久留米工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	データベース基礎	
科目基礎情報						
科目番号	4S42		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	制御情報工学科		対象学年	4		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	速水治夫他 「データベース」 (オーム社)					
担当教員	中野 明					
到達目標						
1. データベースシステムとファイルシステムの違いを理解している。 2. データベース言語を用いて基本的なデータ問合せを記述できる。 3. 実際にデータベースマネジメントシステムを扱い、データ問合せを行うことができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	データベースシステムとファイルシステムの違いを理解している。		データベースシステムとファイルシステムの違いをほぼ理解している。		データベースシステムとファイルシステムの違いを理解していない。	
評価項目2	データベース言語を用いて基本的なデータ問合せを記述できる。		データベース言語を用いて基本的なデータ問合せをほぼ記述できる。		データベース言語を用いて基本的なデータ問合せを記述できない。	
評価項目3	実際にデータベースマネジメントシステムを扱い、データ問合せを行うことができる。		実際にデータベースマネジメントシステムを扱い、データ問合せをほぼ行うことができる。		実際にデータベースマネジメントシステムを扱い、データ問合せを行うことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
JABEE C-1						
教育方法等						
概要	データベースならびにデータベースシステムは、大量の情報を蓄積し、効率的に利用するための基盤技術の一つである。そのため、産業界において広く普及している。本授業では、このデータベースならびにデータベースシステムに関する基本的な知識の習得とSQLによる実践的な技術の修得を授業の目的とする。					
授業の進め方・方法	参考図書、配布プリントなどを用いた講義を行い、その後、データベースならびにデータベースシステムへの理解を深めるため実践的な演習を行う。演習では、AccessとSQLite3を用いてデータベースならびにクエリの作成を課す。演習の成果は、実行結果などの提出より確認する。演習環境は、第一IT演習室、第二IT演習室に整っているが、SQLite3はフリーでの利用が可能であるため、SQLite3の自主学修は放課後だけでなく自宅でも可能である。					
注意点	点数分配：評価割合に従い行う。 評価基準：60点以上を合格とする。 再試：再試を行う。 学修単位：本科目は学修単位であるので、授業時間以外での学修が必要であり、これを課題として課す。 諸注意：次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	データベースの基本概念・データベースのモデル	データベースの基本概念・データベースのモデルを理解する。		
		2週	関係データベースの基礎 (キー制約・整合性制約)	キー制約・整合性制約を理解する。		
		3週	関係データベースの基礎 (関係代数)	関係代数を理解する。		
		4週	リレーショナルデータベース言語SQL (データベース言語)	データベース言語の特徴を理解する。		
		5週	リレーショナルデータベース言語SQL (探索条件)	SQLでの探索条件を理解する。		
		6週	演習 (探索条件の基礎)	SQLでの探索条件を理解する。		
		7週	関係データベース・SQLの試験	関係データベース・SQLの問題を解くことができる。		
		8週	リレーショナルデータベース言語SQL (集合関数)	SQLでの集合関数を理解する。		
	2ndQ	9週	リレーショナルデータベース言語SQL (複数の表の利用)	SQLでの複数の表の利用を理解する。		
		10週	演習 (複数の表の利用)	SQLでの複数の表の利用を理解する。		
		11週	リレーショナルデータベース言語SQL (副問合せ)	SQLでの副問合せを理解する。		
		12週	演習 (副問合せ)	SQLでの副問合せを理解する。		
		13週	リレーショナルデータベース言語SQL (変更・追加・削除)	SQLでの変更・追加・削除を理解する。		
		14週	演習 (変更・追加・削除)	SQLでの変更・追加・削除を理解する。		
		15週	講義全体の復習	SQLでの問合せを理解する。		
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	情報系分野	その他の学習内容	少なくとも一つの具体的なコンピュータシステムについて、起動・終了やファイル操作など、基本的操作が行える。	4	前15
				データモデル、データベース設計法に関する基本的な概念を説明できる。	4	前15
				データベース言語を用いて基本的なデータ問合せを記述できる。	4	前15
評価割合						

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	80	0	0	0	0	20	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0